

令和3年度 第2回飯田市国民健康保険運営協議会会議録【概要】

1 開催日 令和3年5月13日（木）

2 開催場所 市役所 本庁舎 C311, 312 会議室

3 委員出席者氏名（敬称略）

（1）被保険者

倉田一弘、勝野 薫、中山よね子、塩澤章男、木下陽子

（2）保険医・保険薬剤師代表

波多野剛之、萩野下 丞、伊藤隆祥、久保田隆嗣

（3）公益代表

塩澤美紀夫、野田まりこ、林 稔、宮内早希子

（4）被用者保険等保険者

井出光昭

全委員17名中14名の出席により、運営協議会規則第6条の会議の定足数を満たしています。

4 事務局等出席者氏名

副市長 高田 修、総務部長 櫻井 毅、健康福祉部長 高山 毅、
納税課長 原 俊文、保健課長 今村陸哉、保健課健康推進係専門技査 森本優美子、
保健課健康推進係特定健診担当 金子あゆみ、中島 梓
保健課国保係長 吉沢浩亮、保健課国保係 小池あゆみ、原 悠真、片山さくら

5 会議内容

（1）開会

（2）会長あいさつ

今回は、第1回に引き続き、令和3年度の飯田市国民健康保険税の賦課方法についてご協議いただき、最終的に答申としてまとめたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

（3）会議録署名委員指名

（4）協議事項

ア 被保険者数の推移について

イ 飯田市の令和3年度保健事業（予防事業）について

<事務局より説明>

<質疑・意見等>

（委員）

昨年の答申に、「今後の国保事業を健全に運営するため長期見通しをもって運営されたい」と「保健事業の実施にあたっては各地区との連携を密に推進されたい」の2項目を追加したが、具体的にどんな対応をされたか教えてもらいたい。

(事務局)

長期見通しについては、被保険者数の推移、県からの事業費納付金の請求、基金残高を見ながら国民健康保険税の賦課等に関して運営協議会へ説明し、賦課方法をご検討いただいています。

保健事業の各地区との連携については、組合回覧等での特定健診の受診の呼びかけ、まちづくり委員会ではがん検診の申込の取りまとめ、保健推進員による特定健診の受診勧奨を実施しております。

(委員)

長期見通しは、単に被保険者数が減少し、一人当たりの医療費が伸びるということではなく、特定健診の受診率の向上によって医療費の低減が期待されることを含めての将来展望を議論していかないとと思う。

(事務局)

ご意見として賜ります。

(委員)

資料のように、特定健診受診率は5年間で非常に上がっており、長野県との差も縮まっている。特定保健指導実施率は長野県よりも高く、特定健診後の指導はしっかりできていると思う。一度に受診率を上げるのは難しいので、計画的に上げていっていただきたい。

(5) 令和3年度飯田市国民健康保険税の賦課方法について (答申)

(6) 副市長あいさつ

(7) 閉会

6 会議資料

- ・ 次第
- ・ 第2回資料
- ・ 答申書 (写し)